

第2回「信頼性・安全性とシステムズエンジニアリング」

自動車、航空機、エネルギー分野のシステム（ハードウェアとソフトウェア）は加速度的に複雑化しているため、開発時点で安全性や信頼性を確保できるように要件を定義することが重要な課題になっています。このため、上流工程においてシステムズエンジニアリングのアプローチを活用しながら、システムのモデリングが行える人材の育成が喫緊の課題となっています。

「次世代システム開発技術とスキル研究委員会」では、Nancy 教授が提唱する STAMP/STPA 手法による安全解析手法を適用されている有人宇宙システム開発株式会社の星野様と、システムエンジニアリング分野でモデリング教育に永年携われてきた株式会社豆蔵の皆川様をお招きし、こうした上流工程に対応できるエンジニア育成を目的とした下記講演会を開催致します。信頼性・安全性の解析手法やシステムズエンジニアリングのモデリングスキルに関心をお持ちの皆様方の積極的なご参加をお待ちしております。

主催 スキルマネージメント協会 次世代システム開発技術とスキル研究委員会
後援 一般社団法人組込みシステム技術協会
独立行政法人 情報処理推進機構

日程 2014年8月29日（金） 14:00～17:30（13:30 から受付開始）

プログラム

■講演1「安全解析手法 STAMP/STPA の概要と事例紹介」

有人宇宙システム株式会社（JAMSS）
安全開発保証部 主幹技師（ソフトウェアグループリーダー）
星野 伸行 氏

概要

宇宙航空研究開発機構（JAXA）では、宇宙機ソフトウェアの信頼性・安全性の向上のため、独立検証および有効性確認（Independent Verification and Validation: IV&V）を実施しています。IV&V では事前に安全解析を行い、システムにとって望ましくない事象（ハザード）に至る要因を識別しています。安全解析手法として、近年 MIT の Nancy Leveson 教授が提唱する STAMP/STPA の手法を取り入れています。本講演では、新しい安全解析手法 STAMP/STPA の考え方と手順、及び JAXA における適用事例をご紹介します。

■講演2「SysML モデラーへの道 ～ SysML による MBSE 導入のコツと課題 ～」

株式会社 豆蔵
技術コンサルティング事業部
皆川 誠 氏

概要

製品開発に対して SysML による MBSE (Model-Based Systems Engineering) を導入しようとする際の留意点や勘所、モデル作成者(モデラー)に求められるスキル、モデラー育成の方法/課題などについて、実際のコンサルティングで得られた知見を織り交ぜながらお話させていただきます。簡単なサンプル題材について描かれたモデルを示しながら解説するので、SysML モデルによってシステム全体の俯瞰的なイメージを把握する感覚が仮想体験できるかもしれません。また、一部、安全解析などのトピックについても少し触れていきます。

参加料 2,000 円 (税込み、講演資料代含む)
但し、スキルマネジメント協会会員及び後援団体会員は無料

定員 45 名

お申込先 SMA のホームページ (<http://www.skill.or.jp/>) よりお申込下さい。

会場 「TKP 神田ビジネスセンター」 カンファレンスルーム C603 (6階)

会場地図



(ANNEX ではありませんので、ご注意ください)

住所

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町 3-2 神田アベビル 3F/4F/5F/6F/7F/8F (事務所: 7F)

アクセス

都営新宿線 「小川町」 駅、東京メトロ丸ノ内線 「淡路町」 駅

東京メトロ千代田線 「新御茶ノ水」 駅 B6 出口徒歩 3 分

JR 山手線「神田」 駅、東京メトロ銀座線「神田」 駅 徒歩 6 分

都営三田線、東京メトロ千代田線、丸ノ内線、東西線、

半蔵門線 「大手町」 駅 C1 出口徒歩 7 分



Skills Management Association

スキルマネジメント協会

<http://www.skill.or.jp/>